

## 農林水産業活性化のための戦略（農産加工分野）

### 〔農産加工を取り巻く現状と課題〕

総論	<ul style="list-style-type: none"> <li>農産物の価格低迷により、高付加価値化による所得の確保を目指して農産加工に取り組む農業者が増加している。特に近年、常設直売所の設置により手軽で安定的な販路を得たことで農産加工の取り組みが増加した。 ＜平成14年度 215件（13.6億円）→ 平成20年度 391件（21.9億円）＞</li> <li>食品業界による表示偽装事件に端を発し、消費者の安全、安心、高品質な加工品への期待が高まっており、特に生産者が自ら加工する、いわば顔の見える（由来のはっきりした）こだわり農産加工品が注目されている。</li> <li>農村部でも、食文化や郷土食が見直されてきている他、従来各家庭で行われてきた味噌、餅、米菓子等の加工が行われなくなってきたため、こうした加工品に対する購入依存度が高まってきている。</li> <li>生産額の増加は年々緩慢となってきた。以下に示すように、事業者の志向や発展段階別にそれぞれ課題がある。</li> </ul>			
タイプ別	農産加工に取り組む起業者を仮にタイプ別に分類した場合の現状と課題。 I 企業的经营体 II 企業的经营志向起業者 III いきがい型起業者 IV 起業化志向者 V 委託加工者			
タイプI（企業的经营体）	<ul style="list-style-type: none"> <li>JAや法人格を持つ経営体で、販路は比較的確保されており、県外にも及び。</li> <li>地域の雇用創出の場となっている。</li> <li>さらなる販路拡大のための商品力アップや投資（施設整備）に向けたコンサルティング、資金面での支援、商談チャンスなどを必要としている。</li> </ul>	タイプII（企業的经营志向起業者）	<ul style="list-style-type: none"> <li>農業経営の一部門に位置付けられ、夫婦や後継者が参画している他、季節雇用なども導入している。</li> <li>販路（販売チャネル）を拡大したい一方、品揃えや訴求力のある商品性（パッケージや品質など）、衛生管理面や品質保持、財務管理、生産・加工・販売活動の両立などの課題を抱えている。</li> </ul>	
タイプIII（自己完結型起業者）	<ul style="list-style-type: none"> <li>比較的中高年の女性起業者で、主に直売所向けに加工品を製造している。</li> <li>伝統加工技術の存続、直売所の商品バラエティの確保、農村女性の活性化など点で貢献している。</li> <li>自己完結型で無理をせず、事業は当代限りで継続性は考慮していないため、資金力、販売戦略、商品力、生産力が低い。</li> </ul>	タイプIV（起業志向者）	<ul style="list-style-type: none"> <li>近隣の直売所向けに農産加工品の商品化を検討している、女性を中心とした農業者がいる。</li> <li>1ターン、2ターンを含めた新規就農者は抵抗なく起業化を志向しており、現状では資金面、技術面等の問題から、加工施設を所有していないが、将来的には事業化を希望している。</li> <li>集落営農組織で、次のステップとして加工品への事業拡大により経営発展や雇用創出の場づくりを目指す事例が見られるが、このような取り組みはまだ少数である。</li> </ul>	
タイプV（委託加工者）	<ul style="list-style-type: none"> <li>法人格をもつか、それに準ずる中核農家で、顧客をもち、農産物以外の品揃えを必要とするため、OEMで商品展開を図る。</li> </ul>			

### 〔産出額拡大のための実効性のある取組〕

基本方向	展開方針	具体的行動・活動	実 施 工 程			
			H21	22	23	24
需要拡大 （販路拡大）	地元での消費拡大（地産地消の推進）	<ul style="list-style-type: none"> <li>農産加工品の主な販路である直売所の集客数をアップさせるため、観光振興事業やグリーン・ツーリズム推進事業と連携した取り組みを展開する。</li> </ul>				
	地産外消の推進	<ul style="list-style-type: none"> <li>県外消費の拡大をねらった観光振興事業やおいしい山形推進事業等を活用する。</li> </ul>				
企業的经营体への 誘導と人材育成	企業的经营志向起業者から企業的经营体への誘導	<ul style="list-style-type: none"> <li>そうした企画に柔軟に対応できる経営体にステップアップさせる。（ハード、ソフトの両面）</li> <li>農業総合研究センター、県立農業大学校との連携による付加価値の高い商品開発への技術支援を各農業技術普及課と一体となってすすめる。</li> </ul>				
	新規起業志向者の育成	<ul style="list-style-type: none"> <li>次世代を担う女性農業者の経営参画を促進し、起業化への意識醸成やスキルアップ、ネットワーク化により、農産加工を推進する。</li> <li>新規就農者や集落営農組織を含めた起業志向者に対する補助事業（既存も含む）を活用推進する。</li> </ul>				

農業経営に位置付く農産加工の推進(案)

